

受験番号	
------	--

2020 年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 芸術(美術) 解答用紙 (3枚のうち1)

--

得点	
----	--

3

(1)	エコール・ド・パリ		/
(2)	ノートルダム大聖堂	ユトリロ	/
(3)	ゴシック様式		/
(4)	クロード・モネ		/
(5)	②	/	
(6)	国立西洋美術館		/
(7)	①	/	
(8)	<p>正答例</p> <p>モネは太陽の下で刻々と変化する姿をとらえ、降り注ぐ光や大気を表現した印象派を代表する画家である。日本の浮世絵の大胆な構図や色彩に魅力を感じ、大きな影響を受けている。アトリエからキャンバスを持ち出し、「睡蓮」や「積みわら」といった、視点を変えずに同じモチーフを描き、何枚もの絵画を完成させる「連作」という手法をとった。早朝から夕方へ、春から冬へと時間帯や季節によって刻々と変わる光や大気を素早い筆致と微妙な色合いで表現した。</p>		/

受験番号	
------	--

2020 年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 芸術(美術) 解答用紙 (3枚のうち2)

4

得点	
----	--

(1)

題材名「他人に伝わるデザインを考えよう～ピクトグラムの制作～」

題材設定の理由

「高等学校学習指導要領 A表現 (2) デザイン ア (ア) (イ)」では、目的や機能などをもとに主題を生成し、機能や効果などを考えて創造的な表現の構想を練ることができるよう指導することが求められている。生徒には、「B鑑賞」の内容も関連させながら、内容を公共性や伝達性を考えて視覚的に情報を伝えるための「ピクトグラム」について考えてほしい。

生徒は、美術の鑑賞や作品制作に意欲的に取り組み、絵画などの制作で自分の内面を見つめて主題を生成することができる一方、自分の作品が人や社会に与える印象や影響など、デザインが社会に果たす役割について考えて主題を生成することについては経験が少ないことで、苦手意識を持っている生徒も少なくない。

指導に当たっては、形や色彩などによるコミュニケーションの有効性について実感的に理解できるように、学校の体育大会で用いるピクトグラムをデザインすることとし、また学校生活の中で自分の作品が人や社会に与える印象や影響など、デザインが社会に果たす役割について考えることができるようにしたい。

題材の目標

- ・公共性や伝達性を考えて視覚的に情報を伝えるための「ピクトグラム」をデザインすることに関心を持つ。

- ・「ピクトグラム」の目的や美しさを考えて主題を生成し、創造的な表現の構想を練る。

- ・材料や用具の特性を生かして目的や計画をもとに創造的に表す。

- ・他者の作品から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて感じ取り、形や色などによるコミュニケーションの有効性について考えるなどして、造形的な見方や考え方を深める。

受験番号	
------	--

2020 年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 芸術(美術) 解答用紙 (3枚のうち3)

(2)

時	学習のねらいおよび学習活動	
第1時 ～2時	課題の把握と 発想・構想	<p>【例】</p> <p>○「ピクトグラム」形や色彩などによるコミュニケーションの有効性について実感的に理解し、題材への関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の中の表示など身近な「ピクトグラム」を鑑賞し、形や色彩などによるコミュニケーションの有効性について実感的に理解するとともに、どんな人でもわかるとは何かについて考え、題材への関心を高める。 ○公共性や伝達性を考えて視覚的に情報を伝えるための「ピクトグラム」をデザインすることを理解する。 ・今回は体育大会で用いるピクトグラムをデザインすることとし、6人程度のグループで体育大会の各種目の「ピクトグラム」をデザインすることを説明し、各種目や競技内容をまとめたワークシートを配付する。 ・制作にあたってのポイントとして、単純な色と形に省略することで、伝達性を高めることや、グループワークの途中段階で話し合うことで、誰にでもわかるようなデザインを追求することを説明する。 ○「ピクトグラム」の目的や機能、美しさについて考えて主題を生成する。 ・形や色を使って視覚的に伝達する「ピクトグラム」の主題を生成し、ワークシート、アイデアスケッチなどにより形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練る。 /

(3)

<p>「努力を要する」と判断した生徒の具体的な状況 他者への伝達への理解が難しく、自分の書きたい絵を描き、誰にでもわかるような、「ピクトグラム」の構想を練ることが難しい。 /</p>
<p>「努力を要する」と判断した生徒への指導方法の工夫 「ピクトグラム」の参考作品を見せて、少ない要素で、伝達する面白さに気づかせ意欲を引き出すとともに、生徒が伝えたい内容と、形や色彩がもたらす効果について、対話を通して確認し、構想を練るための具体的な手立てを示す。 /</p>